

授業科目 職業関連作業療法学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
貝淵 正人、長谷川 利夫		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GI0】 職業リハビリテーションにおける作業療法の位置づけと意義・役割を理解し、障害者への具体的な訓練の方法を学習する。					
【学習目標】 1. 職業の意義と職業的発達について説明できる。 2. 障害者の就労についての状況と問題点を述べるができる。 3. ICFを使用し就労支援への技法を施行できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	職業リハビリテーションの定義・概念・歴史			1	
2	障害者の就労の現状			2	
3	身体障害ケース（ICF使用）にて就労支援の検討			3	
4	職場定着支援とフォローアップ			2	
5	精神障害者の就労			2	
6	援助付き雇用の概念、歴史的・理論的基盤			2	
7	IPSの概要			2	
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	職業リハビリテーション学 第2版		松為信雄編	協同医書出版	2006・4,200円
	精神障害をもつ人たちのワーキング ライフ		デボラ・R・ベッカー、ロバー ト・E・ドレイク	金剛出版	2004
参考書	職業関連活動		早川宏子	協同医書出版	1999・2,600円
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
(1)出席2/3以上					
(2)期末試験60点以上					
(1)でかつ(2)の場合合格とする					